

実習内容
ならびに
スケジュール

病理診断科

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	オリエンテーション・剖検症例配付	廣田	9:00	8号館8階病院病理部カンファレンス室
	病理検査室見学	廣田	10:00	10号館3階病理検査室
	抄読会参加		11:00	8号館8階病院病理部カンファレンス室
	泌尿器病理カンファレンス参加		17:15	8号館8階病院病理部カンファレンス室
火	組織診断実習	木原	13:00	8号館8階病院病理部カンファレンス室
水	講義	渡邊/石川/吉田	9:00	8号館8階病院病理部カンファレンス室
	講義	河野/三林/中井	15:30	8号館8階病院病理部カンファレンス室
	CPC参加	教員全員	16:00	集合場所は月曜に伝達
木	講義	磯崎/覚道/藤井/松尾	9:00	8号館8階病院病理部カンファレンス室
	剖検症例発表指導	松田	12:40	8号館8階病院病理部カンファレンス室
金	組織診断実習	井出/山崎	9:00	8号館8階病院病理部カンファレンス室
	剖検症例発表・総括	廣田	14:30	8号館8階病院病理部カンファレンス室

◎ 診療科名： 病理診断科

◎ 責任者氏名： 廣田 誠一 主任教授

◎ 指導教員氏名： 松田 育雄 准教授

◎ 実習概要

1. カンファレンス参加、2. 病理検査室の見学、3. クルズス、4. 病理組織診断実習、5. 解剖症例のまとめと発表、などを行い、病理診断領域における重要な疾患に対する的確な診断ができることを目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・病理組織標本作製・細胞診標本作製の過程や両者の違いを説明することができる。
- ・術中迅速診断や病理解剖の意義を述べることができる。
- ・重要な疾患の病理組織像や細胞像について自ら所見を述べることができる。
- ・解剖で得られた組織が正常か異常かを判断し、解剖所見をまとめることができる。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- ・4年次の講義資料、特に総論部分についてよく復習しておくこと（1日）
- ・病理組織図をみて、重要疾患の病理組織・細胞像を確認しておくこと（1日）

◎ 評価方法

（知識、技能、態度についてS、A、B、Cで評価。評価基準をループリックで明示）。

	S	A	B	C
知識	代表的な疾患の詳細な病理組織像を説明できる。	代表的な疾患の病理組織像の概要を説明できる。	代表的な疾患の病理組織像のうち、最重要事項は説明できる。	代表的な疾患の病理組織像が部分的にのみ説明できる。

	代表的な疾患の詳細な細胞像を説明できる。	代表的な疾患の細胞像の概要を説明できる。	代表的な疾患の細胞像のうち、最重要事項は説明できる。	代表的な疾患の細胞像が部分的にのみ説明できる。
技術	実際に代表的な疾患の病理組織像をみて、鑑別疾患を挙げ、診断ができる。	実際に代表的な疾患の病理組織像をみて、その所見の概要を説明できる。	実際に代表的な疾患の病理組織像をみて、その所見の重要事項の説明ができる。	実際に代表的な疾患の病理組織像をみて、その所見の重要事項の一部のみ説明できる。
	実際に代表的な疾患の細胞像をみて、鑑別疾患を挙げ、診断ができる。	実際に代表的な疾患の細胞像をみて、その所見の概要を説明できる。	実際に代表的な疾患の細胞像をみて、その所見の重要事項の説明ができる。	実際に代表的な疾患の細胞像をみて、その所見の重要事項の一部のみ説明できる。
態度	的を得た質問や発言が積極的にできる。	質問や発言が積極的にできる。	質問や発言が時にできる。	質問や発言がない。

◎ パフォーマンス評価

実習中、以下の評価を行う。

月曜午前オリエンテーション・各クルズス・実習・金曜午後プレゼンテーションなど。

◎ 中間評価とフィードバック

木曜の12時40分から中間フィードバックとしてプレゼンテーション内容のチェックを行う（木曜休日の場合は水曜の12時40分から）。

◎ 注意事項

月曜は9時00分までに病院病理部カンファレンスルーム（8号館8階）に集合のこと。（月曜休日の場合は火曜の13時00分に集合）

月曜11時00分からの抄読会には参加すること。

各種カンファレンスのうち、初日のオリエンテーションで指示したものには参加すること。

休日を開院日としている場合は実習を行わない。